

- Items in the income statement that do not involve cash receipts or cash payments,
- The period's change in operating assets and operating liabilities, and
- Items included in the cash flow for investing or financing activities.

【解答にあたって】

皆さんは課題文を読んだときに、アニュアルレポートの類からの出題であることに気が付かれたでしょうか。金融・IR分野に限らず、職業としての翻訳分野を考える時に各分野で取り扱う文章の種類を具体的に知っておく必要があります。今回分からなかった方は、この分野で取り上げられる文章について一度調べてみることをおすすめします。

アニュアルレポートからの出題だと分かった方の中には、すぐに翻訳作業に取り掛かれる方もいらっしゃるでしょう。しかし、「リース」についてよく分からないという方は、ちょっと検索して日本語版アニュアルレポートのリースの項目や用語集を読んで、リースがどういったものであるか理解した上で翻訳してください。課題文ではオペレーティング・リースにふれていますが、もう1つのファイナンス・リースについても、知っておく必要があると思います。分かりやすい訳文を作成するためには、内容の理解が不可欠です。

【訳出のポイント】

- 1) 英文13行目の「fair value」は「公正価値」です。用語集によっては「時価」としているものもありますが、14行目の「present value (現在価値)」の存在も考慮して、ここでは「公正価値」とするのが適切です。
- 2) 英文13行目の「and」は資産の評価方法についてふれている箇所ですが、実務では一つの資産を複数の方法で同時に評価し、計上することはないので「あるいは」と訳出します。「recorded at the lower of A and B」で「AあるいはBの(いずれか)低いほうにより計上される」となります。
- 3) 英文14行目の「lease payment」は、課題文に登場していませんが「受取りリース料 (lease revenue)」と区別して「支払リース料」と訳します。
- 4) 英文15行目「(interest)」、「(amortization)」とカッコ書きでの表記が登場しますが、直前の単語の後に訳出すればよいでしょう。
- 5) 英文18行目の「allocated over」は、「(期間) にわたり配分される」と訳され、よく出てくる表現です。
- 6) 英文18行目の「estimated useful life」は、「見積耐用年数」と訳します。
- 7) 英文21行目の「operating leases」が、上記「解答にあたって」で取り上げた「オペレーティング・リース」です。
- 8) 英文22行目の「straight-line basis」は、減価償却方法の一つ「定額法」のことです。
- 9) 全体をとおして、漢字やカタカナによる表記方法は『記者ハンドブック (共同通信社)』や『有価証券報告書』などを参考にするとよいでしょう。

